

# 富富富 特報

令和5年4月7日

JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会

流通基準を遵守し、高品質で美味しい「富富富」ブランドを確立しよう。

～JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会の取組状況～

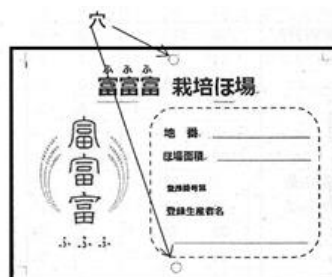
- ・県内では作付面積が1,632ha、  
みな穂管内では294ha栽培されます。

R5年産みな穂管内取組状況		
入善町	238ha	43 経営体
朝日町	56ha	13 経営体
合計	294ha	56 経営体
前年差	+56ha	+6 経営体

- **流通基準** (以下の基準を満たすものを「富富富」のロゴパッケージで販売)
  - ◎検査等級：1等
  - ◎化学合成農薬成分の使用回数：12以内 (県慣行レベルの3割減)
- **品質目標**
  - ・玄米水分：14.5%～15.0%
  - ・玄米タンパク含有率：6.4%以下 (水分15%換算値)

## 1 品種名の表示 ～他の品種との区分管理を徹底する～

- ・育苗作業及び田植時に苗を取り違えないよう、はつきり品種ラベルを貼付、掲示し、作業者全員が品種をまちがえないようにしましょう。
- ・ほ場には、「富富富」の立札の設置をお願いします。



## 2 育苗 ～健全な苗づくり～

- ・播種量は乾粃120g/箱を徹底しましょう。
- ・富富富はコシヒカリに比べ出芽が遅く、揃いにばらつきが生じやすいため、浸種期間はコシヒカリに比べ1～2日長くしましょう。
- ・富富富の苗は葉令2.5葉で、草丈11～12cm第1葉鞘長3cm程度とコシヒカリに比べ、やや小柄な苗に仕上げるのが目標です。無理に草丈を伸ばすと軟弱苗となるため、換気を徹底し、がっしりとした苗づくりを目指しましょう。



苗の比較

本  
格  
作  
付  
け  
6  
年  
目  
！  
高  
品  
質  
で  
美  
味  
し  
い  
「  
富  
富  
富  
」  
ブ  
ラ  
ン  
ド  
の  
確  
立  
！

## 3 苗箱施薬剤の散布 ～苗箱施薬剤は、除草剤と間違えないように散布～

- ・は種時覆土前～移植当日に、1箱当たり50gを均一に散布しましょう。

薬剤名	フェルテラ箱粒剤※	成分	クロラントラニリプロール	対象	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ
-----	-----------	----	--------------	----	---------------------------------

※密苗の場合は、10aあたり1kgになるよう50～100g/箱散布する。

例) 10枚/10aで100g/箱

## 4 基肥 ～適正な基肥量を施用する～

- ・「富富富」は減肥しても収量が確保できます。基肥量の増肥をすると品質・食味の低下につながるため、施肥量はコシヒカリの2割以上減を基本とし、過剰にならないように留意しましょう。
- ・特に昨年度玄米タンパク含有率が6.4%を超えていた生産者は、更に減肥しましょう。

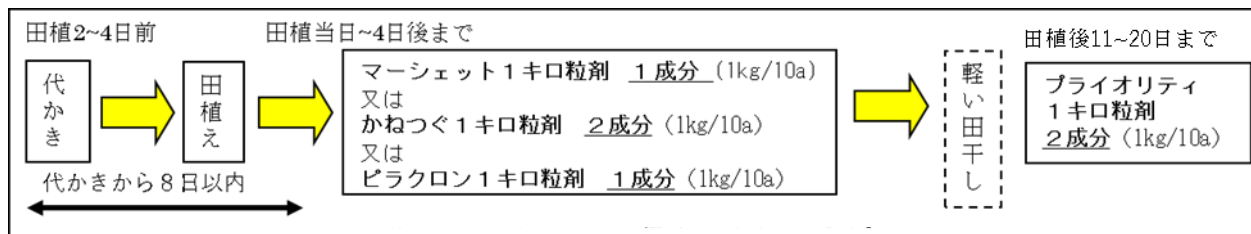
施肥体系	肥料名	施用量の目安※
一発体系	<b>富富富専用</b>	30～32kg/10a (側条)

※大豆跡ほ場や堆肥を施用した場合は、1～3割減肥しましょう。

## 5 田植え ～適正な田植え作業の実施と初期の水管理の徹底～

- ・5月15日を中心 (5/2半旬～4半旬) とした田植えを行いましょう。
- ・栽植株数は70株/坪以上としましょう。
- ・田植後の3日間ほどはやや深水とし、活着を促進しましょう。その後は浅水管理で水温を上昇させ、分けつの発生を促しましょう。

## 6 除草剤の散布 ～使用方法を厳守し、適期に散布～



- ・前作が「富富富」以外の場合は、マーシエット1キロ粒剤又は、かねつぐ1キロ粒剤を必ず散布しましょう。
- ・初期剤を田植え同時処理する場合は、田植え後、直ちに入水しましょう。散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにしてください。
- ・ただし、密苗の場合はピラクロン1キロ粒剤を使用し、田植え同時処理は避けましょう。

栽培期間に使用できる化学合成農薬の成分使用回数は12以内です。

※「富富富の農薬体系」以外の農薬を使用する場合は事前に営農指導員にご相談ください。